おすすめの使用場面

～あなたの施肥管理の、こんな場面でお役に立ちます。

課題 1

通常の施肥設計に加えて、窒素を追加して収量を上げたい。

ユートリシャNは、作物への窒素供給量を最適化し、品質、収量の安定化に貢献します。

課題 2

ほ場あたりの化学肥料の使用量を減らしながらも、収量は維持したい。

ユートリシャNは、窒素養分の不足を補いながらも、品質と収量を最適化するのに役立ちます。

課題 3

窒素肥料の一部がほ場から流出してしまう懸念（溶出、揮発、脱窒）がある。肥料ロスを減らし、施肥効率を上げたい。

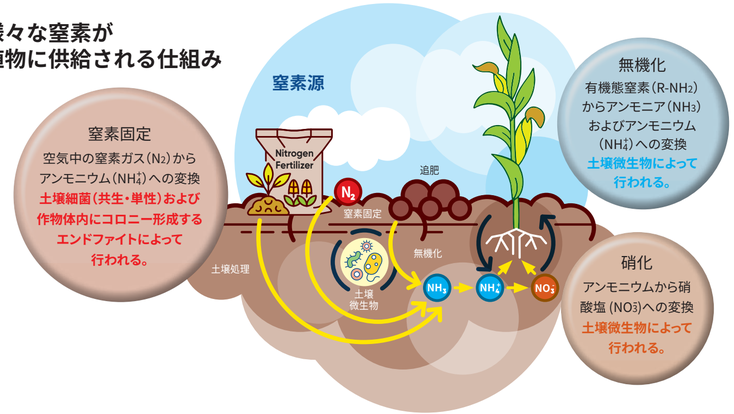
ユートリシャNは、葉で窒素固定を行い、環境ロスのない窒素供給で施肥効率を最適化します。

課題 4

追肥の回数を減らして、ほ場管理にかかる労力軽減を目指したい。

ユートリシャNは、作物の生育期を通じて継続的に窒素を供給し、後半の窒素切れを補います。

様々な窒素が植物に供給される仕組み



Visit us at corteva.jp

使用方法および注意事項	
包装	333 g/袋
使用量	33 g/10 a (333 g/ha)
散布方法	水に希釈して葉面散布
使用上の注意	• 水によく溶かして散布してください。 • 微生物が気孔から植物体に入って効果を発揮するため、希釈液が葉面に十分かかるように散布してください。 • 気孔が多く開いている時（早朝から午前10時ごろ、気温10～30℃）の散布が効果的です。 • 細菌防除用の殺菌剤（銅剤、マンゼブ剤、抗生物質など）との混用、およびこれら薬剤との近接散布はさけてください。 • 農業用水、水道水など塩素濃度2ppm未満の水を使用してください。 • pH5-8の水を使用してください。 • 散布時はマスク、手袋、保護メガネを着用してください。
保管上の注意	• 湿気を避けて密封し、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所に保管してください。 • 23℃以下で保管し、なるべく早く使い切ってください。 • 保管時は凍らないように注意してください。 • 3か月以上保管する場合は4～21℃に保ってください。

効果的な使用時期	
野菜類	生育初期（4-8葉期）
水稲	分げつ期ごろ
とうもろこし	4葉期～8葉期ごろ
その他穀類	4葉期～茎立期ごろ（冬小麦の冬季休眠を除く）
ぶどう	5葉期～果実肥大中期ごろ
その他の果樹類	生育初期（新梢伸長期）

製造
コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
https://www.corteva.jp/

取扱

本資料は2025年7月現在の知見に基づき、作成されています。

UTR（Book） 25.08.01 ST③

ユートリシャ™ N

バイオスティミュラント

自然の力で、生命力あふれる作物へ。

空気中の窒素を利用して、作物の生育をもっと旺盛に。

バイオスティミュラント資材ユートリシャ™Nは、微生物の力で空気中の窒素をアンモニウムに変換。作物が必要とする窒素を生育期を通じて供給します。
作物の健全で力強い生育をサポートし、豊かな収穫へと繋げます。

Embrace a balanced future

CORTEVA™ agriscience biologicals

Visit us at corteva.jp

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標
©2023 Corteva.

作物本来の活力を向上させ、安定した収穫につなげます。

ユートリシャNは、収益性と環境負荷低減を両立させるコルテバ社のバイオスティミュラント資材です。作物の生育期を通じて、最もエコな窒素源である空気中の窒素を葉から取り込み作物に供給する画期的なソリューションです。

ユートリシャNは、主要な農作物に対して幅広く使用することができ、従来の窒素肥料のように環境への流亡リスクがなく、空気中の窒素を作物が利用可能な形態にして供給します。

ユートリシャNは作物の健全な生育をサポートし、また、今後求められる持続可能な農業の実現に向けて、施肥管理に柔軟性と信頼性を提供する新しい技術です。

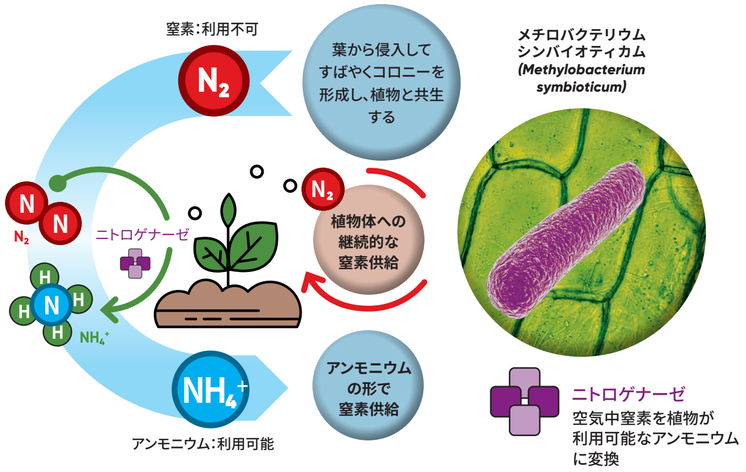
【ユートリシャNの特長】

- 作物の生育期間中、継続的に窒素を供給します。
- 窒素肥料の価格変動に左右されにくい。
- 溶出、揮発、脱窒によって失われることがありません。

ユートリシャNの作用

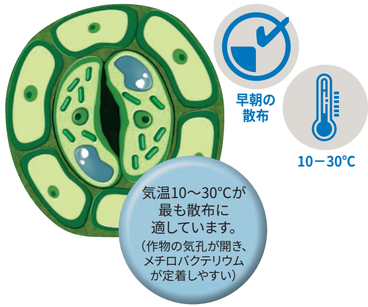
- ユートリシャNには、窒素固定を行うメチロバクテリウムが含まれています。
- メチロバクテリウムは、植物生長の副産物であるメタノールを求めて葉の気孔から植物体内に移動し、さらに細胞間隙に入り込み植物体内で定着、増殖します。
- メチロバクテリウムは酵素ニトロゲナーゼを持ち、空気中の窒素（N_2）をアンモニウム（NH_4^+）に変換することができます。
- 植物はメチロバクテリウムから供給されるアンモニウムを使用してグルタミンを生成し、植物の成長（アミノ酸、タンパク質の生成など）に役立てることができます。
- 植物はグルタミン濃度に応じて窒素吸収を調節するため、アンモニウムの過剰生成が行われることはありません。
- メチロバクテリウムは紫外線（UVA）を吸収するメチロバミンを生産します。

ユートリシャNが空気中の窒素を植物に供給する仕組み



効果的な使い方

- 作物の気孔が開いている早朝の時間帯が最も散布に適しています。
- 気孔は涼しい気温の時に開きやすく、30°C以上では閉じやすくなります。
- 生育の旺盛な生育初期に散布してください。
- 生育初期の作物はメチロバクテリウムのエネルギー源となるメタノールを多く生成し、作物体内でのコロニー化を助けます。



生産性の向上：

ユートリシャNに含まれるメチロバクテリウムは、土壌の窒素が不足していたり、作物が十分に養分吸収できないなど、様々な窒素不足となる条件下で常に作物の葉から窒素を供給します。これにより、生育期間を通して、より安定的な収量に繋がります。

品質の向上：

ユートリシャNは収穫物の品質を左右する規格指標を改善し、出荷基準を満たす収穫量の向上が期待できます。

例：
- 穀類のタンパク質含量
- ばれいしょサイズの均一性
- てんさいの糖度

通常の栽培管理に追加：

ユートリシャNは、例えばとうもろこしでは4葉期から使用でき、追肥作業も通常通り行えます。
使用条件が特に限られないため、通常の栽培管理の中で使いやすい製品です。

他資材との混用／併用：

ユートリシャNは農薬との混用散布が可能です（混用適否については事前にご確認ください）。また、根粒菌など他のバイオ資材との併用も可能です。

取扱い：

ユートリシャNは軽量な顆粒水和剤で、2年間の保存が可能です。
23°C以下で保管し、なるべく早く使いきってください。
3か月以上保管する場合は4～21°Cに保ってください。

窒素管理プログラムに適合：

ユートリシャNは作物が必要とする窒素を補完する優れたバイオスティミュラント資材です。硝化抑制剤との併用も可能で、肥料の価格変動の影響を受けにくい新しい窒素源です。

窒素利用効率とサステナビリティ：

ユートリシャNは少ない使用量で、地下水汚染や温室効果ガス排出の懸念なく作物に窒素を補完し、収量の向上に貢献します。